

4月定例記者会見市長原稿

龍ヶ崎市民の皆さんこんにちは、龍ヶ崎市長の中山です。

今回は、記者会見が、新型コロナウイルス感染リスクを避けるため、記者クラブの記者さんをお招きせず、動画だけの収録となりましたので、その際原稿を掲載させていただきます。

まずは、市民の皆さんや、事業者の皆さまには、自粛要請や施設の休館、学校の休校、保育園などの利用自粛などといった、感染拡大防止のための取り組みに、様々な形でご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。

季節は、春たけなわから、初夏のさわやかな季節に移る、ゴールデンウィークを迎えます。例年であれば、社会生活から脱却し、家族でリフレッシュするのを楽しみにしている方も多かったはずの大型連休ですが、本年は違います。新型コロナウイルスの脅威から脱却するための、私たちの人生の中でも、非常に必要な連休期間となります。

日常生活からかけ離れ、ご家族のご負担も大きくなっていることと存じますが、あらゆることを犠牲にして、原則「可能な限り、家にとどまる」ことを守り、私たちの力で感染拡大を阻止するため、本年

のゴールデンウィークが重大な局面になることを肝に銘じながら、ともに戦い抜いてまいりましょう。

新型コロナウイルス感染症に対しては、4月16日に、全国すべての都道府県に緊急事態宣言が出され、茨城県は特に重点的な対策をすすめる「特定警戒都道府県」に位置付けられました。特に県南地区は、首都圏と密接していることもあり、感染者の報告が連日続くなど、思っている以上に、ウイルスが身近に迫っていることを厳粛に受け止め、さらに警戒を強めなくてはなりません。

そして、緊急事態宣言の期間中には、「曜日や時間を問わず外出を控える」、「県をまたいでの移動を控える」、「家族への帰省を呼びかけない」など、人の移動を極力抑制することが大切です。買い物は通販、飲食は宅配、持ち帰りなどを活用し、必需品の買い物や、健康維持など、どうしても外出しなくてはならないときは、できるだけ単独で行動するなど、少人数で行動し、人との距離を開けるなど、「三つの密」を避けることを徹底してください。

現在、龍ヶ崎市では、人を集める会議の自粛や、郵送で出来る手続きの拡大、市職員の交代勤務等を行い、市民生活を停滞させず、業務が継続できるよう、取り組んでいるところです。

さらに、4月21日には、妊婦へのマスク配布や小中学生への学習支援として、図書カードの配布などを行うための緊急の補正予算を計上し、迅速かつ的確な生活支援ができるよう、この難局を皆さんとともに戦い抜いていけるよう、対策を講じてまいります。

この国難と言うべき状況を、乗り越えるためには、市民ひとりひとりが力を合わせていくことが求められています。

市民ひとりひとりの大切な命、そして、ふるさと龍ヶ崎を守るために、スピード感をもって、感染拡大防止、そして、各種支援策など、皆さまと力を合わせていくための取り組みを進めてまいりますので、引き続き、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

ここからは、本日予定されていた記者会見で用意していた3件の情報を、皆さんに提供させていただきます。

初めに、子ども家庭総合支援室の開設についての情報提供です。

子育て環境日本一を目指す本市では、令和4年度までに全国の全ての市町村に「市町村子ども家庭総合支援拠点」を設置するという国

の指針を受け、2年前倒して、本年4月1日に子どもの心身ともに健やかな育成を支援する「子ども家庭総合支援室」を開設いたしました。

この支援室では、子育て家庭や妊産婦等に寄り添いながら、子どもたちが安心して暮らしていけるよう、それぞれの家庭にあった支援を行うため、家庭児童相談員が必要な情報提供を行ってまいります。

また、児童虐待などの際には、児童相談所、保育園・幼稚園・学校、警察署などといった関係機関との連携を密にし、実情把握や相談対応等に努められるよう、体制を整えています。

子どもに関する悩みは、人それぞれです。心配な時、不安な時は、一人で悩まず「子ども家庭総合支援室」にご相談ください。

窓口に来ることを躊躇される方もいらっしゃるかと思いますので、安心して相談いただけるよう、電話や電子メールでの相談も受け付けております。こちらもご利用いただければと考えております。

次に、宅配サービス事業者拡充に向けた、事業者募集の情報提供です。

超長寿社会と言われる時代が一層進展していく中、車での移動や重い荷物を運ぶような日常の買い物等が困難となっている「買物弱者」が増えつつあります。

このため、本市では、高齢者等が住み慣れた地域で、安心して在宅生活を送ることができるよう、食料品や日用品等の宅配サービスが可能な事業者に関する情報を、「宅配サービス店リスト」としてとりまとめ、その情報提供を行う「宅配サービス事業」を実施してまいりました。

この宅配サービス事業は、現在、感染が拡大している新型コロナウイルスへの感染予防、そして外出自粛をされている方への支援はもちろん、市内事業者への支援の観点から、有効な取り組みであると考えており、この「宅配サービス事業」を拡充すべく、ご協力をいただける事業者の追加募集を行っています。

多くの事業者の皆さまからのお申込みと、市民の皆さまに幅広くご活用いただくことを期待しております。

最後に、コロツケクラブ龍ヶ崎・有志の店舗が中心となったクラウドファンディングの取り組みの情報提供です。

この取り組みは、国内最大のシェアを誇る、クラウドファンディングプラットフォームの「CAMPFIRE（キャンプファイヤー）」の支援を受け、「龍ヶ崎をコロッケで元気に！」を掲げ、皆さまから支援金を募るプロジェクトです。

このプロジェクトの期間は、コロッケの日である5月6日午前5時6分からスタートし、6月30日までの56日間となっています。支援金の目標金額は100万円としているとのことです。

官民一体のクラウドファンディングで、地域を守り・育てるプロジェクトとして実施するため、スタート日・時間・期間とも、コロッケと読める、「5」と「6」にこだわった取り組みとなっています。

プロジェクトでは、一万円の支援をいただくことでリターン品と呼ばれる返礼品が届く仕組みとなっており、龍ヶ崎コロッケを応援していただける方々に、返礼品として、有志店舗のコロッケが毎日1個無料で食べられる「一生食べ放題のパスポート：ころパス」などをお届けいたします。

全国に名をはせる「コロッケの街 龍ヶ崎」ならではの取り組みに、多くの応援、ご支援をよろしくお願いいたします。

以上で、私からの情報提供を終わりとさせていただきますが、改めて、ひとりひとりの感染予防と、感染拡大防止の徹底をお願いして、結びとさせていただきます。

ありがとうございました。